

令和7(2025)年度 栃木県公立学校 新規採用教員選考要項

電子申請受付期間

4月4日(木)～5月8日(水)

願書受付期間

4月19日(金)～5月8日(水)

第1次試験

7月6日(土) 実技試験
7日(日) 学力試験

第1次試験結果通知

8月上旬 頃

第2次試験

8月22日(木)～25日(日)
※詳細はP3「9 試験期日及び試験会場等」を参照。

第2次試験結果通知

9月下旬 頃

目次

【1 選考要項】	P1
【2 勤務条件等】	P10
【3 出願手続及び出願方法について】	P11
【4 受験心得・試験会場図】	P15

【1 選考要項】

1 募集区分・教科・科目及び人員

- 小学校・中学校教諭等 320名程度（中学校は次の教科 各若干名）
国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
- ※ 特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考 小学校・中学校の全教科合わせて別枠で15名程度
- ※ 小学校における英語教育に係る特別選考（英語の免許による一部試験の免除） 小学校別枠で30名程度
- 高等学校教諭等 60名程度（次の教科・科目 各若干名）
国語、地理、歴史、公民、数学、物理、化学、生物、音楽、美術、保健体育、家庭、福祉、英語、情報、農業、電気、機械、建築、商業
- 特別支援学校教諭等 40名程度
養護教諭 小・中学校は12名程度 高等学校及び特別支援学校は若干名

【注意】併願を次の場合のみ認める。※併願者は、第1次試験において併願する校種の専門科目及び実技試験も受験すること。

- （1）一般選考（特例、加点を含む）における、「小学校教諭」と「中学校教諭」の併願。
- （2）特別選考「小学校における英語教育に係る特別選考（英語の免許による一部試験の免除）」における、以下の併願。
 - ・第1志望「小学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（一般選考）」又は「中学校教諭（英語・一般選考）」の併願。
- （3）特別選考「特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考」における、以下の併願。
 - ・第1志望「小学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（一般選考）」又は「中学校教諭（一般選考）」の併願。
 - ・第1志望「中学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（一般選考）」又は「中学校教諭（一般選考）」の併願。
- （4）特別選考「スポーツの実績により一部試験を免除した選考」における、以下の併願。
 - ・第1志望「中学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（一般選考）」の併願。
- （5）特別選考「特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考 II 国際貢献活動等の経験による選考」における、以下の併願。
 - ・第1志望「小学校教諭（特別選考）」と第2志望「中学校教諭（一般選考）」の併願。
 - ・第1志望「中学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（一般選考）」の併願。
- （6）特別選考「講師等経験者特別選考」における、以下の併願。
 - ・第1志望「小学校教諭（特別選考）」と第2志望「中学校教諭（一般選考）」の併願。
 - ・第1志望「中学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（一般選考）」の併願。
- （7）特別選考「大学3年生を対象とした特別選考」における、以下の併願。
 - ・第1志望「小学校教諭（特別選考）」と第2志望「中学校教諭（特別選考）」の併願。
 - ・第1志望「中学校教諭（特別選考）」と第2志望「小学校教諭（特別選考）」の併願。

2 受験資格（大学3年生を対象とした特別選考の受験資格は8ページを参照）

次の各号の全てに該当する者。

- （1）昭和40(1965)年4月2日以降に生まれた者。
- （2）志望する学校種別（小・中・高）、教科・科目等に相当する普通免許状又は特別免許状（以下「普通免許状等」という。）を取得した者、又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。ただし、特別支援学校においては、特別支援学校普通免許状と、志望する部（小・中・高）、教科・科目等に相当する普通免許状等を取得した者、又は取得見込み確実の者。なお、高等学校における保健体育を志望する者は保健体育の普通免許状等、電気、機械、建築を志望する者は工業の普通免許状等、商業を志望する者は商業の普通免許状等を取得した者、又は取得見込み確実の者。
- （3）地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者。

3 出願手続及び出願方法について

「栃木県電子申請システム」により、①教員選考願書、②受験者カードを作成しプリントアウトして、③連絡用定形封筒を2通同封のうえ郵送で提出すること。（詳しくは、11ページ「3 出願手続及び出願方法について」を参照）

[栃木県電子申請システムページ](https://www.pref.tochigi.lg.jp/b03/pref/jyouhouka/denshikenchou/shinsei.html)（利用可能期間：令和6(2024)年4月4日(木)から令和6(2024)年5月8日(水)まで）

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/b03/pref/jyouhouka/denshikenchou/shinsei.html>

※「栃木県ホームページ」→「電子申請システム」→「栃木県」→「令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験」

提出書類	注意事項
①教員選考願書	栃木県庁のホームページから「電子申請による新規採用教員選考試験申込み」に進み、申込み手続の方法をよく確認してから申請手続を行うこと。願書には、所定の写真（カラーに限る）を貼ること。
②受験者カード	プリントアウトしたものを切り取り、所定の写真（カラーに限る）を貼ること。
③連絡用定形封筒	全員2通提出。（同じものを2通用意する。）※全ての募集区分・教科・科目について共通長形3号（12cm×23.5cm）のり付き。封筒には94円切手を貼り、封筒の表面に、郵便番号、住所、受験者の氏名等の宛て先を記入すること。氏名の後には「様」を書き添えること。

- （1）特別選考、加点、特例等を希望する者は、5ページから10ページの記載事項を確認し、必要な提出書類を同封すること。

（注）1 願書等記載事項に重大な瑕疵や虚偽があった場合等には、合格・採用を原則無効とする。

2 受け付けた書類は、一切返却しない。

3 願書に記載（入力）する前に、要項をよく確認すること。

- （2）提出書類は、2ページ「5 受付期間（厳守）」のとおり、郵送にて提出すること。

- (3) 「栃木県電子申請システム」で使用するメールアドレスは、緊急連絡等にも使用することがあるので、本人がメールの受信を常に確認できるメールアドレスとすること。
- (4) 申込みが完了すると、「整理番号」及び「パスワード」が登録したメールアドレスに送信される。「整理番号」及び「パスワード」は、下のメモ欄に記入するなどして必ず控えること。

整理番号	パスワード

4 書類の提出先

〒320-8501 宇都宮市埴田1丁目1番20号

栃木県教育委員会事務局義務教育課人事担当又は高校教育課人事担当

志望区分	問合せ先
小学校・中学校又は養護教諭（小・中）を志望する場合は義務教育課人事担当へ	TEL 028-623-3386 FAX 028-623-3399
高等学校、特別支援学校又は養護教諭（高、特別支援学校）を志望する場合は高校教育課人事担当へ	TEL 028-623-3396 FAX 028-623-3393

5 受付期間（厳守）

令和6(2024)年4月19日(金)～5月8日(水)

- (1) 出願手続について
- ア 令和6(2024)年4月4日(木)から令和6(2024)年5月8日(水)までに正常に受信したものに限り受け付ける。
- イ 電子申請による出願手続後、1ページ「3 出願手続及び出願方法について」に記載されている提出書類を下記(2)のとおり郵送で提出すること。
- ウ 申込み締切り直前の回線混雑時やシステム管理等のため、一時的に利用できない場合があるので、余裕をもって申し込むこと。
- (2) 出願方法について
- ア 令和6(2024)年4月19日(金)到着分から令和6(2024)年5月8日(水)の消印まで有効。
- イ 郵送の際、封筒の表左下に「志望校種及び教科・科目」を下の例にない朱書きすること。
(例)「小学校」「中・国語」「高・商業」「特別支援学校・中」「養護教諭(小・中)」
- ウ 料金不足による差出人への返送とならないように、郵便料金を確認のうえ郵便局窓口等で郵送すること。
- エ 上記の期間以外は一切受け付けない。

6 選考方法

(1) 第1次試験

<学力試験、実技試験[中学校及び高等学校の美術、音楽、保健体育]>

学力試験	区分	学力試験の内容
	小学校	一般教養(教職専門を含む)及び国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・英語に関する専門科目
中学校	一般教養(教職専門を含む)及び志望する教科に関する専門科目	
高等学校	一般教養(教職専門を含む)及び志望する教科・科目に関する専門科目	
特別支援学校	一般教養(教職専門を含む)及び特別支援教育に関する専門科目	
養護教諭	一般教養(教職専門を含む)及び養護に関する専門科目	

(注) 実技試験の詳細については、6月中旬頃通知する。

(2) 第2次試験(第1次試験の合格者について行う。)

区分	第2次試験の内容
小学校 中学校 養護教諭(小・中)	・個人面接①「総合的な資質・能力に関する面接」 ・個人面接②「実践的な指導力に関する面接」 ・実技試験(下表を参照)
高等学校 特別支援学校 養護教諭(高・特)	・個人面接①「総合的な資質・能力に関する面接」 ・個人面接②「実践的な指導力に関する面接」 ・論文 ・実技試験(下表を参照)

実技試験

区分	実技試験の内容
中学校及び高等学校	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校の技術 ・中学校及び高等学校の家庭、英語 ・高等学校の情報、電気、機械、建築

} 志望する
教科・科目に
関する実技

(注) 実技試験の詳細については、後日通知する。

(3) 選考基準

県教委ホームページにて公表。

7 選考試験の結果について

- (1) 第1次試験の結果については、8月上旬頃に本人宛て通知を発送するとともに県教委ホームページに合格者の受験番号を掲載する。
- (2) 第2次試験の結果については、9月下旬頃に本人宛て通知を発送するとともに県教委ホームページに合格者の受験番号を掲載する。
- (3) 第1次試験及び第2次試験不合格者に対して、選考試験の結果を総合成績のランクでA、B、Cの3段階に分けて通知する。(併願者については、第1志望のランクについて通知する。)
 なお、A、B、Cのランクは次のとおりである。
 A：不合格者の中で上位である。 B：不合格者の中で中位である。 C：不合格者の中で下位である。
- (4) 試験の結果については、口頭での情報提供を求めることができる(下表参照)。情報提供を希望する場合は、受験者本人が、本人であることを確認できる書類(運転免許証等)及び第1次試験については第1次試験結果通知書、第2次試験については第2次試験結果通知書を持参して、栃木県教育委員会事務局義務教育課又は高校教育課に来課すること。

申出のできる人	提供内容	提供期間及び時間	提供場所
第1次試験 不合格者	・一般教養及び専門科目の得点 ・第1次試験の実技試験の得点	第1次試験結果通知日から1か月間 ・午前10時から正午まで ・午後1時から午後5時まで (土・日・祝日を除く)	栃木県教育委員会事務局 ○小学校・中学校 義務教育課人事担当 ○高等学校、特別支援学校 高校教育課人事担当
第2次試験 受験者	・個人面接①②の評価 ・論作文の評価 ・第2次試験の実技試験の得点	第2次試験結果通知日から1か月間 ・午前10時から正午まで ・午後1時から午後5時まで (土・日・祝日を除く)	栃木県庁舎南別館3階

8 その他

- (1) 合格者は、令和7(2025)年4月1日付け採用とする。
 ただし、病気、妊娠出産等、特別な事情があるときは、令和8(2026)年3月31日まで採用を延期する場合がある。また、令和7(2025)年3月31日までに卒業できなかった場合、令和7(2025)年3月31日までに合格した学校種別及び部(小・中・高)の相当する普通免許状等(特別支援学校合格者は特別支援学校普通免許状)が取得できなかった場合、教員としてふさわしくない信用失墜行為等が判明した場合、願書等記載事項に重大な瑕疵や虚偽があった場合等には、合格・採用を原則無効とする。
- (2) 日本国籍を有しない者を任用する場合は、期限を付さない常勤講師とする。
- (3) 小学校合格者が義務教育学校前期課程に、中学校合格者が義務教育学校後期課程に、小・中学校養護教諭合格者が義務教育学校に配置される場合がある。
- (4) 受験した志望校種と異なる校種に採用、又は将来異動となる場合がある。ただし、研修交流を除き、「小・中・義務教育学校」と「高等学校・特別支援学校」間での異動はない。
- (5) 障害のある方、また、受験の際に配慮を希望する方は、栃木県教育委員会に相談すること。

9 試験期日及び試験会場等

- (1) **試験期日及び試験会場**(会場略図は、15ページに掲載)

試験の区分	試験期日	試験会場
第1次試験	実技試験 〔中学校及び高等学校〕	7月6日 ・中学校及び高等学校の音楽、美術 ……栃木県総合教育センター(宇都宮市瓦谷町1070) ・中学校及び高等学校の保健体育 ……栃木県立宇都宮高等学校(宇都宮市滝の原3-5-70)
	学力試験	7月7日 ・栃木県立宇都宮工業高等学校(宇都宮市雀宮町52) ・宇都宮市立陽北中学校(宇都宮市今泉町47-2) ・宇都宮市立陽南中学校(宇都宮市陽南2-4-58) ・栃木県総合教育センター(宇都宮市瓦谷町1070) ・TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口 (宮城県仙台市青葉区花京院1-2-15 ソララプラザ) *「大学3年生を対象とした特別選考」受験者は栃木県内会場のみ受験可。
第2次試験	個人面接①②	8月22日~24日のいずれか1日 栃木県立宇都宮工業高等学校(宇都宮市雀宮町52) 栃木県総合教育センター(宇都宮市瓦谷町1070)
	論作文 〔高等学校、特別支援学校、養護教諭(高・特)〕	8月22日 栃木県立宇都宮工業高等学校(宇都宮市雀宮町52)
	実技試験 〔中学校及び高等学校〕	8月25日 中学校の技術、中学校及び高等学校の家庭、英語 高等学校の情報、電気、機械、建築 ……栃木県総合教育センター(宇都宮市瓦谷町1070)

※第1試験会場は、6月中旬頃に送付する第1次試験通知書(受験票)にて通知する。

(2) 第1次試験（学力試験等の日程）

	8:30	9:10	9:20	10:20	10:40	11:00	11:10	12:00	13:10	14:30	
第1志望小学校 第2志望なし	受付			受付			休憩	諸注意	一般教養 (教職専門を含む)	昼食・休憩	小学校専門科目
第1志望小学校 第2志望中学校											
第1志望中学校 第2志望小学校	受付			諸注意			休憩	諸注意	一般教養 (教職専門を含む)	昼食・休憩	小学校専門科目
第1志望中学校 第2志望なし											
高等学校	受付			諸注意			休憩	諸注意	一般教養 (教職専門を含む)	昼食・休憩	小学校専門科目
特別支援学校											
養護教諭	受付			諸注意			休憩	諸注意	一般教養 (教職専門を含む)	昼食・休憩	小学校専門科目
養護教諭											

※ 試験当日は、以下に記載の物を持参すること。

- ・第1次試験通知書（受験票）
- ・筆記用具（コンパス・定規を含む）
- ・上ばき及び下ばきを入れる袋等（県内会場のみ）
- ・昼食（試験日程に合わせて各自が準備する）
- ・農業及び商業を受験する者：電卓
- ・工業の各科目を受験する者：関数電卓（ポケットコンピュータ等不可）、直定規

※ 小学校のみを受験する者は、10:20～11:00の間に受付を行うこと。

※ 特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考、小学校における英語教育に係る特別選考（英語の免許による一部試験免除）、特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考の国際貢献活動等の経験による選考、講師等経験者特別選考の対象となった者で小学校専門科目のみを受験する者は、12:40～13:00の間に受付を行うこと。

※ 一般教養免除の者で小学校と中学校の専門科目の両方を受験する者は、一般教養の時間は指定された教室で待機すること。

(注) 第2次試験の日程については、第2次試験受験資格を得た者にのみ通知する。

選考試験概要

選考の種類	選考試験内容	第1次試験			第2次試験			
		一般教養	専門科目	実技試験	個人面接	論文	実技試験	
一般選考		○	○	※1	○	※2	※3	
特別選考	①介護等の事由による退職者を対象とする一部試験を免除した選考	1次試験免除			○	※2	免除	
	②小学校における英語教育に係る特別選考 (英語の免許による一部試験の免除)	免除	○	-	○	-	-	
	③特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考	受験資格ア・イ	免除	○	※1	○	-	※3
		受験資格ウ	1次試験免除			○	-	※3
	④スポーツの実績により一部試験を免除した選考	保健体育	免除	○	免除	○	※2	-
		保健体育以外	免除	○	※1	○	※2	※3
	⑤教職経験（現職教諭等）により一部試験を免除した選考	1次試験免除			○	※2	※3	
	⑥前年度第2次試験Aランクにより一部試験を免除した選考	1次試験免除			○	※2	※3	
	⑦大学推薦特別選考	小学校	1次試験免除			○	-	-
		高等学校（情報）	免除	○	-	○	○	○
	⑧特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考	免除	○	※1	○	※2	※3	
⑨障害のある方を対象とした選考	○	○	※1	○	※2	※3		
⑩講師等経験者特別選考	免除	○	※1	○	※2	※3		
⑪大学3年生を対象とした特別選考	○	○	※1	R7年度に実施				
特例	①大学院在学者に対する特例	○	○	※1	○	※2	※3	
	②大学院進学者に対する特例	○	○	※1	○	※2	※3	

※1 中学校及び高等学校の音楽、美術、保健体育を志望する者のみ実施

※2 高等学校、特別支援学校及び養護教諭（高・特）を志望する者のみ実施

※3 指定のある募集区分・教科・科目のみ実施する。詳細は要項2ページ6（2）参照

特別選考

①介護等の事由による退職者を対象とする一部試験を免除した選考

(1) 募集区分・教科・科目 全ての募集区分・教科・科目 (ただし、第1志望のみ)

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、次の各号の全てに該当する者。

- ア 栃木県の公立学校の教諭、養護教諭 (いずれも正規教員) として、受験する校種、教科、科目と同一の教職経験を5年以上有している者 (休職、育休等の期間は除く)。
- イ 介護等 (介護、育児、家族の転勤等による転居) を理由にして退職した者で、① 出願時に退職した年度の翌年度から10年以内の者、又は、② ①で10年を越えた場合においても、令和3(2021)年4月1日から令和6(2024)年3月31日までの3年間に栃木県内の公立学校の講師 (非常勤講師を含む)、助教諭、養護助教諭として通算で12月以上の勤務をしている者。

(3) 提出書類

- 自己申告書 (様式は県教委ホームページからダウンロードしたもの) を提出すること。
 - (2) イの②に該当する者は、勤務状況報告書 (様式は県教委ホームページからダウンロードし、所属長の証明したもの) を提出すること。
 - 教員選考願書の特別選考志望欄に「介護等の事由による退職者を対象とする一部試験を免除した選考」と記入すること。
- ※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除し、第2次試験では、実技試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

②小学校における英語教育に係る特別選考 (英語の免許による一部試験の免除)

(1) 募集区分・教科・科目及び人員 小学校 30名程度 (第2志望を小学校又は中学校英語として併願可)

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、次の各号の全てに該当する者。

- ア 小学校教諭免許状を既に取得又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。
- イ 中学校教諭又は高等学校教諭の英語の普通免許状等を既に取得あるいは令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。

(3) 提出書類

- 英語の普通免許状等のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - 教員選考願書の特別選考志望欄に「小学校における英語教育に係る特別選考」と記入するとともに、第1志望校種に必ず小学校と記入すること。また、第2志望により、小学校又は中学校の一般選考を併願する場合は、第2志望校種に小学校又は中学校を記入すること。なお、中学校を志望した場合は受験教科・科目を英語と記入すること。
- ※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

③特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考

(1) 募集区分・教科・科目及び人員 小学校・中学校の全教科合わせて15名程度 (第2志望を小学校又は中学校として併願可)

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、小・中学校の特別支援学級担任を強く希望する者で、次のア、イ、ウのいずれかに該当する者。

- ア 特別支援学校教諭免許状を既に取得又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。
- イ 令和3(2021)年4月1日から令和6(2024)年3月31日までの3年間に栃木県内の公立学校の講師 (非常勤講師を含む) 等として通算で12月以上の特別支援学級担当又は特別支援学校勤務経験がある者。
- ウ 令和6(2024)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受けた者。ただし、本選考を第1志望とした者。

(3) 提出書類

- 応募者は自己推薦書 (様式は県教委ホームページからダウンロードしたもの) を加えること。
 - (2) のアに該当する者は、特別支援学校教諭免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - (2) のイに該当する者は、勤務状況報告書 (様式は県教委ホームページからダウンロードし、所属長の証明したもの) を提出すること。
 - (2) のウに該当する者は、「令和6(2024)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について (通知)」のコピーを提出すること。
 - 教員選考願書の特別選考志望欄に「特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考」と記入するとともに、(2) のウの者については上記通知に記載してある受験番号を記入すること。
- ※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

(2) のア及びイの応募者で書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。また、(2) のウの応募者で書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

※本特別選考で合格した者は、原則として一定期間、栃木県公立小・中学校の特別支援学級担任として配置する。

④スポーツの実績により一部試験を免除した選考

(1) 募集区分・教科・科目 中学校・高等学校の全ての教科・科目（第1志望が中学校の者は、第2志望を小学校として併願可）

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、次のア、イのいずれかに該当し、かつ、ウの要件を満たした者。

ア 国際大会（オリンピック競技大会、アジア競技大会、及び、これに準ずる大会）に日本代表として出場した者。

イ 全国大会（全日本選手権大会、国民スポーツ大会（旧国民体育大会）、及び、これに準ずる大会）において、競技者（団体競技の場合は正選手）として出場し、団体又は個人でベスト4以上の成績を収めた者。

ウ 競技種目は、国民スポーツ大会実施競技（特別競技も含む）とする。

(3) 提出書類

・実績をまとめたもの（様式は自由でA4判1枚。校種、氏名を明記。）と、大会要項及び競技団体が発行する成績証明書等、実績を証明できるものを添付して提出すること。

・教員選考願書の特別選考志望欄に「スポーツの実績により一部試験を免除した選考」と記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。ただし、保健体育で出願する者は実技試験も免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

⑤教職経験（現職教諭等）により一部試験を免除した選考

(1) 募集区分・教科・科目 全ての募集区分・教科・科目

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。

・都道府県（栃木県は除く）又は指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、現在、正規任用の主幹教諭、指導教諭、教諭又は養護教諭（いずれも、臨時的任用教職員及び非常勤講師を除く）として勤務し、都道府県（栃木県は除く）又は指定都市において、令和7(2025)年3月31日まで継続して3年以上（休職、育休等の期間を除く）の勤務が見込まれる者。ただし、受験する校種、教科・科目と同一の教職経験を2年以上有している者とする。

(3) 提出書類

・在職証明書（様式自由、任命権者の証明したものに限る。所属長の証明したものは不可）を加えること。

・教員選考願書の特別選考志望欄に「教職経験（現職教諭等）により一部試験を免除した選考」と記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

⑥前年度第2次試験Aランクにより一部試験を免除した選考

(1) 募集区分・教科・科目 全ての募集区分・教科・科目

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。

・令和6(2024)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において不合格となった者のうち第2次試験でAランクの評定を受け、令和7(2025)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験において同じ校種、教科・科目を志望する者。

(3) 提出書類

・「令和6(2024)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験の結果について（通知）」のコピーを加えること。

・教員選考願書の特別選考志望欄に「前年度第2次試験Aランクにより一部試験を免除した選考」と記入するとともに、上記通知に記載してある受験番号を記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者は、第1次試験を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

※なお、令和6(2024)年度栃木県公立学校新規採用教員選考試験においてAランクとなった者のうち、情報の加點制度を申請した者については、加點制度の要件を引き継ぐものとする。

⑦大学推薦特別選考

(1) 募集区分・教科・科目 小学校及び高等学校（情報）

(2) 受験資格

別途定める「大学推薦特別選考実施要項」のとおり。

(3) 提出書類

別途定める「大学推薦特別選考実施要項」のとおり。

(4) 選考試験

別途定める「大学推薦特別選考実施要項」のとおり。

※「大学推薦特別選考実施要項」は、栃木県教育委員会が推薦を依頼する大学等に送付する。

⑧特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考

I 普通免許状等の所有の有無に関わらない選考

※1ページの「2 受験資格」の(1)と(3)を満たし、(2)の普通免許状等を持たず下記のいずれかの要件を満たす者も受験資格を有する。なお、合格後、令和7(2025)年3月31日までに栃木県教育委員会が発行する当該特別免許状を取得できなかった場合は採用しない。

(1) 募集校種及び教科

a 高等学校の福祉 b 高等学校の電気、機械、建築 c 高等学校の家庭 d 高等学校の情報

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」の(1)と(3)を満たし、下記の受験する校種及び教科に該当する者。

a 高等学校の福祉

・介護福祉士資格を有し、介護福祉士として5年以上の実務経験のある者、又は、看護師等(医師・保健師・助産師及び看護師)の資格を有し、看護師等として5年以上の実務経験のある者(実務経験は令和7(2025)年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)

b 高等学校の電気、機械、建築

・大学を卒業している者又は令和7(2025)年3月31日までに卒業見込みの者で、工業の教科についての高度な専門的知識・技能を有し、民間企業、官公庁(教育関連機関を除く)等に常勤として7年以上の実務経験のある者。

c 高等学校の家庭

・専門調理師資格を有する者、又は、調理師資格を有する者で調理師として10年以上実務経験のある者(実務経験は令和7(2025)年3月31日までに公立学校以外の事業所に常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)

d 高等学校の情報

・独立行政法人情報処理推進機構が実施する、次の情報処理技術者国家試験に合格した者のうち、情報システムの開発、保守、又は運用に関わる職に、3年以上の実務経験のある者(実務経験は令和7(2025)年3月31日までに常勤として勤務した又は勤務する通算の年数とする。)

基本情報技術者、応用情報技術者、ITストラテジスト、システムアーキテクト、プロジェクトマネージャ、ネットワークスペシャリスト、データベーススペシャリスト、エンベデッドシステムスペシャリスト、ITサービスマネージャ、システム監査技術者、情報処理安全確保支援士

(3) 提出書類

ア a 高等学校の福祉

・介護福祉士又は看護師等の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(様式は県教委ホームページからダウンロードすること。)及び5年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)を加えること。

b 高等学校の電気、機械、建築

・7年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)及び自己推薦書(様式は県教委ホームページからダウンロードすること。)を加えることとし、教科についての高度な専門的知識・技能に関する資格等を有している者については、資格取得を証明する書類(コピー可)を加えること。

c 高等学校の家庭

1 専門調理師の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(様式は県教委ホームページからダウンロードすること。)

2 調理師の資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(様式は県教委ホームページからダウンロードすること。)、実務経験を証明する書類(A4判様式自由)

d 高等学校の情報

・資格取得を証明する書類(コピー可)、自己推薦書(様式は県教委ホームページからダウンロードすること。)及び3年以上の実務経験を証明する書類(A4判様式自由)を加えること。

イ 教員選考願書の特別選考志望欄に「特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考」と記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者には、第1次試験の一般教養を免除する。福祉、工業、家庭、情報の普通免許状等を所有する者又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者で書類選考の結果対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

II 国際貢献活動等の経歴による選考

(1) 募集区分・教科・科目 全ての募集区分・教科・科目(小学校・中学校受験者は、第2志望を小学校又は中学校として併願可)

(2) 受験資格

1ページの「2 受験資格」を満たし、平成31(2019)年4月1日から令和6(2024)年3月31日までの5年間に、次のいずれかに該当する者。(ただし、教育に関する勤務・活動を行ってきた者)

ア 在外日本人教育施設、海外の公的機関において、通算2年以上の勤務経験がある者

イ 独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊、海外協力隊、日系社会青年海外協力隊、日系社会海外協力隊又はシニア海外協力隊、日系社会シニア海外協力隊として通算で2年以上の派遣実績がある者

(3) 提出書類

・経験、実績を証明する書類(A4判様式自由)及び自己推薦書(様式は県教委ホームページからダウンロードすること。)

・教員選考願書の特別選考志望欄に「特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考」と記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。

(4) 選考試験

書類選考の結果対象となった者には、第1次試験の一般教養を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

⑨障害のある方を対象とした選考

- (1) 募集区分・教科・科目及び人員 **全ての募集区分・教科・科目**を対象とし、20名程度
- (2) 受験資格
 - 1 ページの「2 受験資格」を満たし、次に掲げるいずれかの手帳等（採用時に有効であること）の交付を受けている者。
 - ア 身体障害者手帳の交付を受け、その障害が1級から6級までの者。
 - イ 療育手帳の交付を受けている者。
 - ウ 精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者。
- (3) 提出書類
 - ・ 交付を受けている手帳のコピーを加えること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「障害のある方を対象とした選考」と記入するとともに、「障害のある方記入欄」に障害の内容や受験の際に配慮を希望する内容を記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。
- (4) 選考試験
 - ア 選考試験は上記の第1次試験から一般の受験者と同じ期日、同じ会場で行うが、障害の種類や程度等に応じた配慮を行う。
(配慮例) ・一般の受験者とは別の試験室での試験実施、障害の種類による試験時間の延長、座席の配置等
・視覚に障害のある方…問題の点字訳、文字・用紙の拡大等 ・聴覚に障害のある方…手話通訳等
 - イ 障害の種類に応じて、実技試験等を免除あるいは軽減する場合がある。
 - ウ 募集、選考は1ページの「1 募集区分・教科・科目及び人員」とは別枠で行う。

⑩講師等経験者特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目 **全ての募集区分・教科・科目**（小学校・中学校受験者は、第2志望を小学校又は中学校として併願可）
- (2) 受験資格
 - 1 ページの「2 受験資格」を満たし、次に該当する者。
 - ・ 令和3(2021)年4月1日から令和6(2024)年3月31日までの3年間に栃木県内の公立学校及び同県内の国立大学附属学校において、常勤の講師等（非常勤講師を除く）として通算で12月以上の勤務経験がある者（**校種は問わない**）。
- (3) 提出書類
 - ・ 応募者は、自己推薦書（様式は県教委ホームページからダウンロードしたもの）及び勤務状況報告書（様式は県教委ホームページからダウンロードし、所属長の証明したもの）を提出すること。
 - ・ 教員選考願書の特別選考志望欄に「講師等経験者特別選考」と記入すること。

※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。
- (4) 選考試験
 - 書類選考の結果対象となった者は、第1次試験の一般教養を免除する。対象とならなかった者は、第1次試験の全てを受験するものとする。書類選考の結果については、6月中旬までに本人宛て通知する。

⑪大学3年生を対象とした特別選考

- (1) 募集区分・教科・科目 **全ての募集区分・教科・科目**（小学校・中学校受験者は、第2志望を小学校又は中学校として併願可）
- (2) 受験資格について
 - 次の各号の全てに該当する者。
 - ア 大学3年生以上で令和7年度に卒業する見込みのある者。
 - イ 昭和41(1966)年4月2日以降に生まれた者。
 - ウ 志望する学校種別（小・中・高）、教科・科目等に相当する普通免許状又は特別免許状（以下「普通免許状等」という。）を取得した者、又は令和8(2026)年3月31日までに取得見込み確実の者。ただし、特別支援学校においては、特別支援学校普通免許状と、志望する部（小・中・高）、教科・科目等に相当する普通免許状等を取得した者、又は取得見込み確実の者。なお、高等学校における保健体育を志望する者は保健体育の普通免許状等、電気・機械・建築を志望する者は工業の普通免許状等、商業を志望する者は商業の普通免許状等を取得した者、又は取得見込み確実の者。
 - エ 地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しない者。
- (3) 提出書類
 - ・ 大学が発行する在学証明書 ※提出用封筒の表側左下に「特別選考」と朱書きすること。
- (4) 選考試験
 - ・ 第1次試験の全てを受験するものとする。
- (5) その他
 - ・ 大学3年生を対象とした特別選考の第1次試験合格者は、次年度、第1次試験を免除し、第2次試験から受験することができる。
 - ・ 今年度受験した教員採用選考試験での校種・教科・科目等が次年度の教員採用試験で募集がない場合、第1次試験合格者であってもその校種・教科・科目等で受験することはできない。ただし、第1次試験合格者が次年度に異なる校種・教科・科目等で受験する場合、第1次試験の一般教養を免除で受験することができる。

※①～⑪の選考においては、⑨の選考とその他いずれかの選考とを併せて受験することは可能である。

ただし、①～⑧、⑩の選考で対象とならなかった者（⑧のIについては福祉、工業、家庭、情報の普通免許状等を所有する者又は令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者）は、⑨の選考のみ対象とする。

※①、⑤、⑥、⑦の選考においては、「小学校教諭」と「中学校教諭」の併願は認めない。

大学院在学者・大学院進学者に対する特例について

①大学院在学者に対する特例

- (1) 募集区分・教科・科目 **全ての募集区分・教科・科目**
- (2) 資格要件
 1 ページの「**2 受験資格**」を満たし、次の各号の全てに該当する者。
 ア 令和7(2025)年度栃木県公立学校教員採用試験に合格した者が、引き続き大学院修士課程又は教職大学院の課程での修学を希望する場合。
 イ 国内の大学院修士課程又は教職大学院の課程において修学中であり、すでに応募校種・教科の免許を取得している者で、令和8(2026)年3月31日までに大学院修士課程又は教職大学院の課程を修了し、修士又は教職修士の学位を授与されること。
 ウ 合格した校種・教科の専修免許が取得できること。
- (3) 提出書類
 ・令和7(2025)年度栃木県公立学校教員採用試験に合格後、採用延期願（様式は県教委ホームページからダウンロードしたもの）を提出すること。
 ・教員選考願書の特例の欄に「大学院在学者に対する特例」と記入すること。
※提出用封筒の表側左下に「特例」と朱書きすること。
- (4) 特例の内容
 令和8(2026)年度採用予定者として採用を延期する。
※延期間間終了までに(2)イ、ウの要件を満たさなかった場合は、採用内定を無効とする。

②大学院進学者に対する特例

- (1) 募集区分・教科・科目 **全ての募集区分・教科・科目**
- (2) 資格要件
 1 ページの「**2 受験資格**」を満たし、次の各号の全てに該当する者。
 ア 令和7(2025)年度栃木県公立学校教員採用試験に合格した者が、国内の大学院（教職大学院を含む）への進学を希望する場合。
 イ 令和9(2027)年3月31日までに大学院修士課程又は教職大学院の課程を修了し、修士又は教職修士の学位を授与されること。
 ウ 合格した校種・教科の専修免許が取得できること。
- (3) 提出書類
 ・令和7(2025)年度栃木県公立学校教員採用試験に合格後、採用延期願（様式は県教委ホームページからダウンロードしたもの）を提出すること。
 ・教員選考願書の特例の欄に「大学院進学者に対する特例」と記入すること。
※提出用封筒の表側左下に「特例」と朱書きすること。
- (4) 特例の内容
 令和9(2027)年度採用予定者として採用を延期する。
※延期間間終了までに(2)イ、ウの要件を満たさなかった場合は、採用内定を無効とする。
※令和6(2024)年12月末までに大学院（教職大学院を含む）への進学が決定することを原則とする。

◎とちぎの教育について

○「とちぎの求める教師像」

～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～
 人間性豊かで信頼される教師
 幅広い視野と確かな指導力をもった教師
 教育的愛情と使命感をもった教師



○「栃木県教員育成指標」（教諭「採用時の姿」部分抜粋）

「とちぎの求める教師像」を踏まえ、キャリア段階に応じて求められる資質・能力を示しています。

..... 全体指標

教員としての基礎・基本を理解するとともに、教職生活全体を通して自律的に学び続けようとする強い意志を持っている。

学習指導に関する指標	児童・生徒指導に関する指標	参画・経営に関する指標	意欲・態度に関する指標
学習指導の基礎・基本を理解するとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志を持っている。	児童・生徒指導の基礎・基本を理解するとともに、指導力の向上を目指して学び続けようとする強い意志を持っている。	組織の一員として自分の役割を果たそうとする強い意志を持っている。	教育的愛情と使命感をもった教師になるという強い意志を持っている。

加点制度について

(1) 募集校種 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校 ※大学3年生を対象とした特別選考受験者は除く。

(2) 申請資格

1 ページの「2 受験資格」を満たし、次のア、イ、ウ、エ、オ、カ、キのいずれかに該当する者。

ア 高等学校（国語、地理、歴史、公民、数学、物理、化学、生物、音楽、美術、保健体育、家庭、英語）の志願者で、情報の普通免許状を既に取得あるいは令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。

※なお、本加点制度を利用して合格した者は、受験した教科以外に、情報の授業を担当することもある。

イ 高等学校（家庭）の志願者で、調理師の資格を既に取得している者。

ウ 中学校・高等学校の英語（小学校と中学校を併願した場合、中学校を第1志望とする）の志願者で、下記①～③のいずれかの資格を有する者。ただし、①②については令和2(2020)年4月1日以降に資格を取得した者。

	中学校英語	高等学校英語
① TOEFL	550点以上（iBT 80点以上）	600点以上（iBT 100点以上）
② TOEIC	730点以上取得者（IPテストは不可）	900点以上取得者（IPテストは不可）
③ 実用英語技能検定 （公益財団法人）日本英語検定協会	準1級合格者	1級合格者

エ 小学校又は中学校の志願者で、小学校及び中学校の両方の普通免許状を既に取得あるいは令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。

オ 小学校、中学校又は高等学校の志願者で、特別支援学校の普通免許状を既に取得あるいは令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。

カ 特別支援学校の志願者で、小学校、中学校、高等学校の3つの普通免許状を既に取得あるいは令和7(2025)年3月31日までに取得見込み確実の者。

キ 小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校の志願者で、学校図書館司書教諭の資格を有する者。

(3) 提出書類

- ・ (2) のアに該当する者は、情報の普通免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - ・ (2) のイに該当する者は、調理師の資格を証明する書類のコピーを提出すること。
 - ・ (2) のウに該当する者は、①～③のいずれかを証明する書類のコピーを提出すること。
 - ・ (2) のエに該当する者は、小学校・中学校両方の免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - ・ (2) のオに該当する者は、特別支援学校の免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - ・ (2) のカに該当する者は、小学校、中学校、高等学校の3つの免許状のコピー又は取得見込み証明書を提出すること。
 - ・ (2) のキに該当する者は、修了証書のコピーを提出すること。
- ※教員選考願書の加点欄に、該当する資格名（ア 情報免許 イ 調理師免許 ウ 英語特定資格 エ 小中両免許 オ 特支免許 カ 小・中・高免許 キ 司書教諭資格）を記入すること。

(4) 加点の内容

- ・ (2) のアにおいて、書類審査の結果対象となった者には、第1次試験の専門科目の得点に10点を加点する。
- ・ (2) のイ～キにおいて、書類審査の結果対象となった者には、第1次試験の専門科目（併願の者は第1志望の専門科目）の得点に5点を加点する。

※ (2) のア～キのいずれか2つ以上に該当した場合は、1つのみ申請をすること。

【2 勤務条件等】

○給与（初任給：新卒の場合 令和6(2024)年4月1日現在）

	小・中・義務教育学校	高等学校	特別支援学校
修士課程修了	267,363 円	267,363 円	278,802 円
大学卒	245,974 円	245,974 円	256,504 円
短大卒	224,146 円	220,709 円	230,024 円

※上記金額は、給料月額に教職調整額、義務教育等教員特別手当、地域手当等を含んだ額です。

※この他に扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当等が支給されます。

○勤務地及び校種

- ・ 県内の小学校、中学校、義務教育学校
（上記の中で、受験した志望校種と異なる校種に採用、又は異動となることがある。）
- ・ 県内の高等学校、特別支援学校
（上記の中で、受験した志望校種と異なる校種に採用、又は異動となることがある。）

○勤務時間

週 38 時間 45 分

○休暇等

有給休暇は、年次休暇の他、産前・産後休暇等の特別休暇 等があります。
また、子どもが3歳に達するまで、養育に専念できる育児休業制度もあります。

○教員選考願書等作成の注意事項と印刷例等

1 教員選考願書等作成の注意事項

- (1) 願書は、11 ページ「3 出願手続及び出願方法について」等を確認の上、「栃木県電子申請システム」で作成すること。
(「栃木県電子申請システム」に入力した内容が願書に反映されます。)
- (2) 併願は、1 ページ「1 募集区分・教科・科目及び人員」の場合のみ認める。その際、願書が下記の例のように記載されているか確認すること。

<例1 第1志望を小学校、第2志望を中学校(理科)と併願する場合>

受付印	教員選考願書			受験番号	※
第1志望校種 受験教科・科目	小学校			提出前6か月以内に撮影したものを貼る。 (脱糊・糊上) パスポート規格サイズ たて 4.5 cm よこ 3.5 cm 写 真 ※カラー写真に限る ※写真裏面に記名する	
第2志望校種 受験教科・科目	中学校 理科				
特別選考 志望					
特例	加点	小中両免許(5点)			
第1次試験 希望会場	栃木県内会場				

<例2 特別支援学級の経験等により一部試験を免除した選考で

第1志望を小学校、第2志望を小学校の一般選考とする場合>

受付印	教員選考願書			受験番号	※
第1志望校種 受験教科・科目	小学校			提出前6か月以内に撮影したものを貼る。 (脱糊・糊上) パスポート規格サイズ たて 4.5 cm よこ 3.5 cm 写 真 ※カラー写真に限る ※写真裏面に記名する	
第2志望校種 受験教科・科目	小学校				
特別選考 志望	3. 特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考				
特例	加点				
第1次試験 希望会場	仙台会場				

<例3 小学校における英語教育に係る特別選考で第1志望を小学校、
第2志望を中学校英語の一般選考とする場合>

受付印	教員選考願書			受験番号	※
第1志望校種 受験教科・科目	小学校			提出前6か月以内に撮影したものを貼る。 (脱糊・糊上) パスポート規格サイズ たて 4.5 cm よこ 3.5 cm 写 真 ※カラー写真に限る ※写真裏面に記名する	
第2志望校種 受験教科・科目	中学校 英語				
特別選考 志望	2. 小学校における英語教育に係る特別選考				
特例	加点	小中両免許(5点)			
第1次試験 希望会場	栃木県内会場				

- (3) 年齢は、令和7(2025)年4月1日現在の満年齢とすること。
- (4) 複数校の大学等を卒業・修了等している場合の「最終学校」は以下を参照して入力すること。

	経 歴	最終学校
例1	A大学卒業後、B大学の科目等履修生	A大学
例2	A大学卒業後、A大学大学院修了(修了見込み)	A大学大学院
例3	A大学卒業後、B大学卒業	B大学
例4	A大学卒業後、B大学通信課程修了	A大学
例5	C専門学校卒業後、D教員養成機関卒業	D教員養成機関

- (5) 現住所、その他連絡先(帰省先等)は、正確に入力すること。電話番号については、必ず連絡のつく電話番号を入力すること。
- (6) 教員免許状は、「栃木県電子申請システム」の手順に従い入力すること。取得見込みの場合は、取得(見込)年月日を令和7年3月31日とすること。(※「大学3年生を対象とした特別選考」は、令和8年3月31日。)
- (7) 願書を印刷する際は、A4用紙に片面印刷とすること。
- (8) 願書及び受験者カードには、所定の写真(パスポート規格サイズ たて4.5 cm よこ3.5 cm、カラーに限る。)を貼付すること。
- (9) 願書の署名欄は、出願する本人が必ず自筆で記入すること。
- (10) 受験者カードは、切り取り線に従い切り取る。

2 願書印刷例

中英

特別選考や特例、加点を志望する者は、志望する内容が記載されているか。		受験番号		※		
第1志望校種 受験教科・科目 中学校 英語 第2志望校種 受験教科・科目 小学校		志望校種等の記載に誤りはないか。 ※併願については、要項P1を確認すること。		所定の写真を貼付すること。 提出前6カ月以内に撮影したものを貼る。 (脱帽・胸上) パスポート規格サイズ たて 4.5cm よこ 3.5cm 写真 ※カラー写真に限る ※写真裏面に記名する		
		特別選考 志望 ○○○○○○した選考 特例 △△△△に対する特例 加点 □□□□		令和7年4月1日現在の年齢となっているか。		
第1次試験 希望会場 栃木県内会場 希望する会場が記載されているか。		(令和7年4月1日現在)				
氏名	栃木 太郎	トチギ タロウ	生年月日	平成4年6月15日	年齢	32
最終学校	◇◇大学		学部	○○学部	学科	△△学科
			コース	□□コース	卒業	平成28年 3月
現住所	3208501	栃木県宇都宮市塙田1-1-20		氏名や最終学校等の記載に誤りはないか。 ※最終学校については、要項P12を確認すること。		
その他連絡先	3200000	帰省先等の記載に誤りはないか。				
電話番号	05000000000		日本			
教員免許状	種類	中学校教諭1種免許状	教科	英語	取得(見込)年月日	平成28年3月31日
		小学校教諭1種免許状	免許の記載に誤りはないか。 ※1行目は「今回の出願に係る免許状」 2行目は「特別支援学校の免許状」 3行目から5行目には、「その他の免許状」のうち、関連の高いものから3つを記載すること。			
	現職区分	公立学校講師				
	その他特記事項	現職区分は下記の中から選択して正しく記載されているか。 新卒(卒業・修了見込)、大学院在学(特例受験者)、大学3年生、公立学校教諭、公立学校講師(非常勤を含む)、公務員(実習助手・寄宿舎指導員を含む)、私立学校教員、民間企業、パート・アルバイト、在家、その他				
教員免許以外の免許資格	その他(普通自動車免許、漢字能力検定)					
免許教科以外で得意とする教科	数学、理科					
特技	バスケットボール、ICT機器の操作					
クラブ・部・ボランティア活動等歴及び職歴調査書						
	クラブ・部等の所属及び職歴			活動内容		
中学校						
高等学校	スポーツ、文化、ボランティア活動等について、活動したクラブ・部・サークル名等及び卒業後の職歴等が記載されているか。			教育に生かせる一芸一能などの特技、実績、業績が具体的に記載されているか。(スポーツ、芸術等における出場記録、成績、役割、ボランティア活動等の経験、情報処理、機械、設計等の優れた技能及び職歴経験、その他活動状況など)		
大学						
卒業後						

(注) 願書上部枠外にも、志望校種や特別選考、加点制度等について、入力した内容が反映されて記載されます。事務手続上必要な情報となりますので、そのまま提出してください。

履歴書

始期	終期	学歴・職歴・その他
平成11年4月1日	平成17年3月31日	〇〇市立△△小学校
平成17年4月1日	平成20年3月31日	〇〇市立△△中学校
平成20年4月1日	平成23年3月31日	栃木県立△△高等学校
平成23年4月1日	平成28年3月31日	◇◇大学 〇〇学部 △△学科 □□コース 卒業 (海外留学により1年休学)
平成28年4月1日	平成30年3月31日	〇〇市立△△小学校 講師
平成30年4月1日	令和2年3月31日	〇〇市立◇◇中学校 非常勤講師
令和2年4月1日	令和7年3月31日	栃木県立〇〇特別支援学校 講師 同講師退職予定

小学校入学以後の履歴が、令和7年3月31日まで暦年順にもれなく記載されているか。
 ※職業に就きながら通信教育、定時制又は夜間の学校等に在学した場合は、その両方を記載すること。
 ※原級にとどまったような時は、その理由を記載すること。

障害のある方を対象とした選考で出願する者は、配慮を希望する内容等が記載されているか。
 ※上記とは別に、事情により受験の際に配慮を希望する者は、その内容を記載すること。

障害のある方記入欄（障害のある方、事情により受験の際に配慮を希望する方は、詳しく記入してください。）

刑罰・処分歴 無

年 月 日	刑罰・処分の内容

本県や他都道府県において、過去に刑罰や処分歴がある場合には、判決確定年月日又は処分年月日とその内容を記載すること。

私は教員を志望していますので選考していただきたく必要書類を添えてお願いします。
 なお、書類記載事項は真実でありかつ正確であることを誓います。
 また、私は地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の各号に該当しておりません。

出願する本人が必ず自筆で記入すること。

令和 年 月 日

栃木県教育委員会 様

自筆署名

○履歴事項は正しくもれなく記入すること。また、記入欄が不足するときは、別紙を貼付の上記入すること。
 ○この教員選考願書に、故意による虚偽の記載をした場合、記載内容の秘匿があった場合などにおいては、合格・採用を原則無効とする。

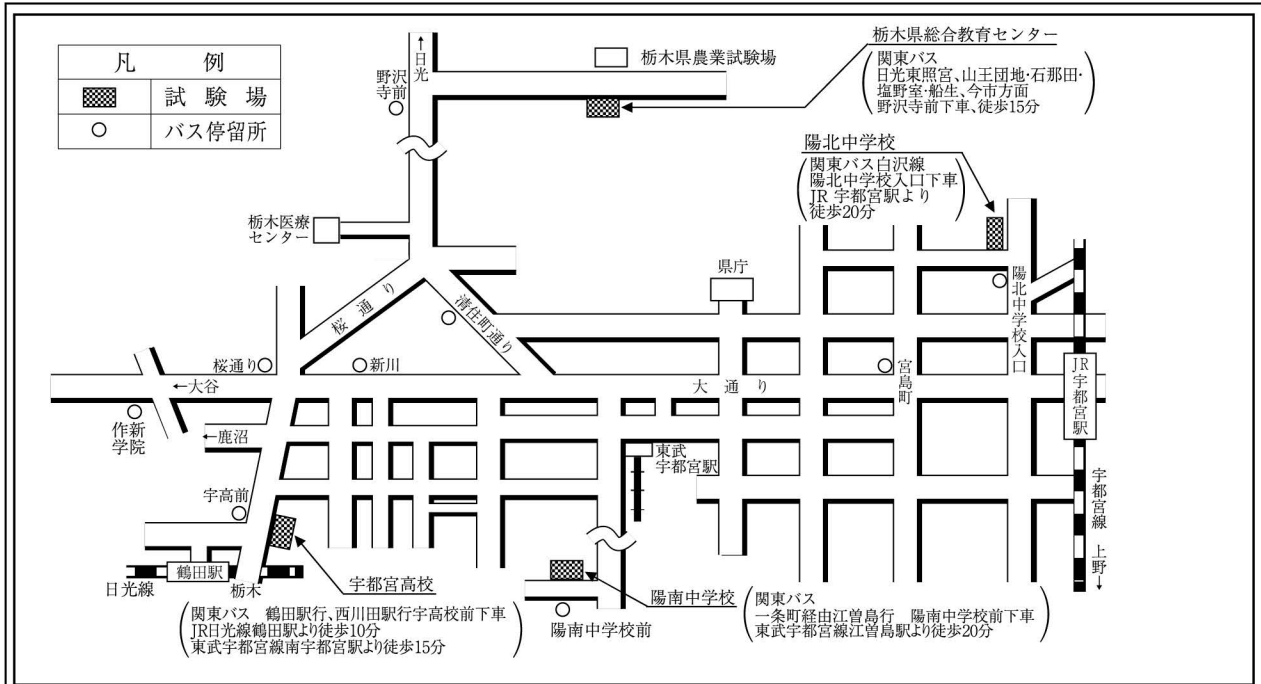
【4 受験心得・試験会場図】

受験心得

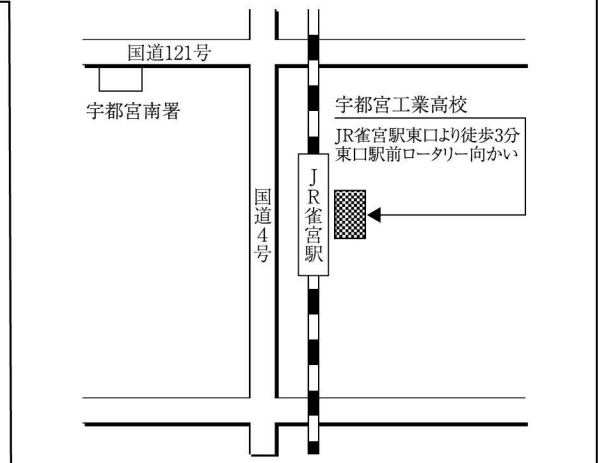
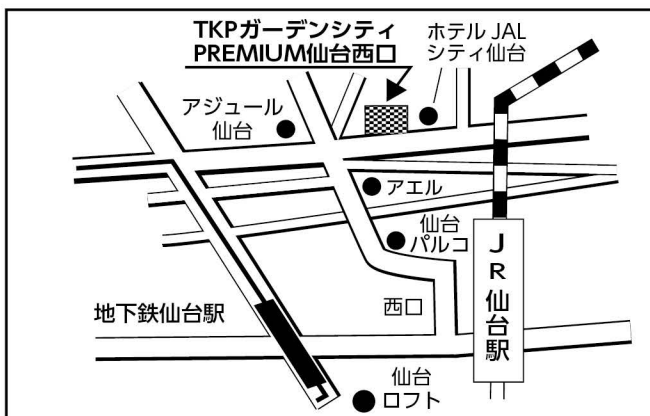
1. 自家用車の乗入れは禁止する。また、試験会場周辺の店舗等への無断駐車、また、送迎等のための無断駐車は迷惑となるので厳禁とする。
2. 試験会場は全て禁煙とする。
3. 問題配布、答案用紙提出の際は、係員の指示に必ず従い、秩序を乱さないこと。
4. 答案用紙には受験番号のみ記入し、氏名は書かないこと。
5. 答案用紙は必ず提出すること。
6. 不正行為又は誤解をうけるような態度をとらないこと。
7. 終了時刻以前には退出しないこと。
8. 消しゴム等用具の貸し借りはしないこと。
9. 携帯電話は、試験中は電源を切り、カバン等にしまうこと。
10. 腕時計型端末は時計として使用不可。カバン等にしまうこと。
11. 第1次試験通知書は受験番号が見えるようにして机の上に置くこと。

以上受験心得に違反した場合は失格とする場合がある。(第1次・第2次試験とも)

試験会場図 (栃木県内会場)



(仙台会場)



受験者へのお知らせや緊急連絡等は次のアドレスに掲載します。こまめに確認をお願いします。

栃木県教育委員会ホームページアドレス



<https://www.pref.tochigi.lg.jp/kyouiku/kyouikugyousei/kyouikuiinkai/index.html>

栃木県教育委員会採用担当 X (旧ツイッター) ID



@tsaiyo_tochigi